大阪から若者新時代

わたなべ結 35歳

参院選挙区 改選数4

渡部・ゆい＝1981年大阪市生まれ。
大阪外国語大学（現大阪大学）卒。党
大阪府委員会青年学生委員会責任者

〈S野党党首が、安保法制（戦争法廃止）を目標に選挙協力することなどを合意しました〉

今まで共産党に思わりのなかった若いしが演説会に来てくれるなど、共産党への信頼を感じています。各地の懇談会では、自民党を保守の人からも歓迎されています。ある自民党の方は「今度は共産党が加わった対抗勢力になる。自民党が大の字では戦えないようになると話していました。

野党5党がまとまったのは、野党は共闘の国民世論と市民運動があったからです。安倍政権を退陣に追い込むため、絶対に勝たなあかん選挙や思っています。

立候補表明してから4年余り、保守や無党派の人たちと共産党との共同が広がっていると感じています。

戦争法廃止では「ママの会」と懇談しました。反対の集会とデモには、自衛隊員の息子を持つ母親が泣きながら参加してくれました。大阪市内の住民投票や府市長・議員ダブル選挙では、保守の人たちとの「反おさか維新」の共闘を広げてきました。共闘をさらに広げるために、そのかけ橋となる共産党の議席を勝ち取りたいです。

同僚が解雇

〈政治に取り組む原点は〉

大学卒業後3年間、派遣の労働者として働きました。職場で派遣の同僚が突然解雇され、とてもショックを受けました。誰もが生き生きと働き、希望を持って生きられる社会にしたい、人間らしく働けるルールの実現」のためには共産党がもっと大きくならなければ、と26歳で共産党の職員になりました。

ある派遣の若者は、あまるの劣悪な労働環境に「派遣よりもホームレスの方がマシだ」と言う程の状況まで追い込んでいました。一度しかない人生をよりよく生きようと思ったときに、政治がそれを阻む。こんな政治は絶対に許すことができません。

格差と貧困

〈1月に大阪若者提言を発表しました〉

府内の18～29歳の若者1000人にアンケートを取りました。その結果、非正規雇用は44・2%。奨学金利用者に「ローン残高」を聞くと、6人に1人が500万円以上、そのうち6人が1000万円以上だった。提言では、「ブラックな働き方をなくそう」「安心して使える奨学金制度に」などの打開策を打ち出しました。

格差と貧困で苦しんでいるのは若者だけではありません。大阪から貧困と格差を打ち破り、くらしと経済の立直しを進めるために、直ちに共産党の躍進が必要です。

新しい時代を切り開く力、改選数4の大阪選挙区で必ず勝利し、自民、公明、おおさか維新の改憲勢力を少数に追い込みます。

比例は日本共産党へ

戦争法廃止、維新政治ノー 共同広げるかけ橋になる

住之江区
医師会会長
松嶋 三夫さん

命と暮らし守る情熱の人

わたなべ結さんとは、地域医療に欠かせない住吉市民病院（大阪市住之江区）の廃院反対運動や、「大阪都構想反対運動のとき、「絶に街頭演説をしました。政策は、真面目で努力を惜しまず、自分の考えをはっきりと言葉にして伝えることができる、裏表がなく市井の人々の生活を守る熱意にあふれている人が適任だと考えています。

守る運動に取り組んでこられました。

〈命を守る熱い思い〉

なべさんは、わたなべさんが参議院選挙で勝利し、日本の政治に大きな変化を与えてほしいと願っています。

選挙区メモ

前回参院選から改選数が1増で4になった大阪選挙区。公明党、民進党の現職が立候補を表明しています。自民党は現職から元外務官僚の新人に交代します。

改憲勢力入りを公言している「おおさか維新の会」は現大阪府議の擁立につづき、2人目の候補者選定を進めています。

日本共産党と後援会は、激戦を勝ち抜き議席を必ず獲得しようと宣伝、対話、支持拡大に奮闘しています。